



課題解答用紙

(平成 29 年度講習修了者更新用)

会社（事業所）名		氏名	
----------	--	----	--

該当する記号（A・B・C・D）に○を付けなさい。

問題	解答欄				問題	解答欄			
問題 1	A	B	C	D	問題 6	A	B	C	D
問題 2	A	B	C	D	問題 7	A	B	C	D
問題 3	A	B	C	D	問題 8	A	B	C	D
問題 4	A	B	C	D	問題 9	A	B	C	D
問題 5	A	B	C	D	問題 10	A	B	C	D

- 解答用紙は切り取らず、このまま送付して下さい。
- 課題は、修了証を更新する登録造園基幹技能者本人が解答して下さい。
- 氏名の自署で本人が解答したことの証明とします。
- 解答の記入にあたっては、BかHBの鉛筆を使って記入して下さい。
- 訂正する場合は、消しゴムでていねいに消して訂正して下さい。

会社（事業所）名		氏名	
----------	--	----	--

平成 29 年度 登録造園基幹技能者講習

講習修了証 更新課題

[注 意]

1. 解答は最後のページの解答用紙に記入して下さい。
2. 解答の記入にあたっては、BかHBの**鉛筆**を使って記入して下さい。
3. 解答を訂正する場合は、消しゴムでていねいに消して訂正して下さい。
4. 問題用紙も回収しますので、解答用紙を切り離さずそのまま送付して下さい。

※標準学習時間 2 時間

一般社団法人 日本造園組合連合会

一般社団法人 日本造園建設業協会

【問題 1】 造園設計に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 樹木が生長する空間を考慮して設計を行う。
- (B) 自然環境や管理運営面も十分に考えて設計を行う。
- (C) 工事期間と工事金額のみを優先した設計を行う。
- (D) 発注者、施工者、管理者が理解できる内容の設計を行う。

【問題 2】 関係者との調整方法に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 関連工事の特徴を理解する。
- (B) 必要事項は後で伝える。
- (C) 造園工事の特性を伝える。
- (D) 作業範囲を明確にする。

【問題 3】 O J Tに関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) O J Tは、日常の仕事を離れて行われる集合研修・教育である。
- (B) O J Tは、日常の仕事を通して行う指導である。
- (C) O J Tは、本来計画的に行われるべきものではない。
- (D) O J Tは、体系的、理論的な訓練に効果がある方法である。

【問題 4】 建設業法上の造園工事の事例として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 緑地育成工事
- (B) コンクリート舗装工事
- (C) 根切り工事
- (D) タイル張り工事

【問題 5】 労働安全衛生法など関連法令に定める有資格者を配置すべき作業として、**適当なもの**はどれか。

- (A) トリマーを使用した高さ 2メートルの生け垣の刈り込み作業。
- (B) 高さ 7メートルのイチョウの剪定作業。
- (C) 移動式クレーンを使用した重さ 2トンの庭石の石組み作業。
- (D) 高さ 3メートルの足場の組み立て作業。

【問題 6】 設計変更が可能なケースに関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 監督職員から口頭にて指示を受け施工した。
- (B) 明らかな設計ミスで設計変更は当然のことであったので、監督職員からの仕様変更を承諾し施工した。
- (C) 工期が迫っていたが、所定の手続きを行い、書面による指示を受け施工した。
- (D) 工期が迫っていたので、監督職員と後日、設計変更協議を行うことを確認し施工した。

【問題 7】 植栽工事の工程表作成の留意点に関する記述として**適当でないもの**はどれか。

- (A) 工期と植栽適期が一致していない場合には、十分な保護・養生及び施工方法に配慮する。
- (B) 植栽施工は、一般に他の工事の完了後に行われるため、関連工事との工程調整の必要はない。
- (C) 高木、中木、低木、地被という植えつけ順序に配慮した工程とする。
- (D) 植栽施工は、天候に左右されるので、気象状況を考慮して余裕を持った計画とする。

【問題 8】 枯損に関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 植栽時の剪定において、細根が減少している根鉢の吸水量とのバランスをとるため、出来るだけ葉を残さないよう剪定する事が枯損を防ぐ方法である。
- (B) 植え込みまでに日数を要して根鉢が乾燥傾向にあったとしても、水極めを丁寧に行えば枯損することはない。
- (C) 目視ではわからないウィルスや細菌に感染したものは、時間の経過とともに機能障害を起こし枯損の原因となる。
- (D) 支柱の緩みがあったとしても、樹木自体が健全であれば枯損の原因にはなり得ない。

【問題 9】 公共用緑化樹木等品質寸法規格基準(案)に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 「高木」とは、幹が通常単幹で太くなり、枝条とは明確に区別され、樹高が高く伸びる樹木をいう。
- (B) 「単幹」とは、幹が根元近くから分岐せず 1 本であるものをいう。
- (C) 「低木」とは、充分生育しても高く生長しない樹木で、樹高が一般的に 2 m 以下のものをいう。
- (D) 「株立ち」とは、数本の樹木等を、根際で寄せて、この部分を 1 本化させて株立ち状態に育成したものをいう。

【問題 10】 原価管理の目的に関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 原価資料を収集・整理して、将来の同種工事の見積りに利用する。
- (B) 原価資料を収集・整理して、将来の異種工事の見積りに利用する。
- (C) 原価資料を収集・整理して、将来の同種工事の施工に利用する。
- (D) 原価資料を収集・整理して、将来の異種工事の施工に利用する。